

2024/25 スピードスケートジュニア国際競技会派遣選手選考基準

【決定の方法】

国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できる種目を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

【出場に関する制限】

各国際競技会の参加標準記録における対象競技会は、2023年7月1日以降に開催されたすべてのISUメンバーに参加資格が与えられている国際競技会（ISUルール第107条3項に従う）、全日本スピードスケート距離別選手権大会、全日本スピードスケート選手権大会、全日本ジュニアスピードスケート選手権大会とする。

【特記事項】

- ・ 各国際競技会において ISU が設定した参加標準記録を所持している種目にのみ、出場することができる。
- ・ 各国際競技会に選考された選手の中で、ISU の設定する参加標準記録を所持している選手は、エントリー枠に空きがあった場合には、対象競技会における順位の良い選手から順に追加エントリーをする場合がある。さらにエントリー枠に空きがあった場合には、所持している記録の良い選手から順に追加エントリーをする場合がある。
- ・ ISU の参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある。
- ・ 本選考基準において、JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議による選考を定めている場合において意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。また、ここでの選考は、強化部委員会の出席者（選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く）の3分の2以上の多数をもって変更することができる。

1. ジュニアワールドカップ第1戦ザコパネ大会（11/30～12/1、500m・1000m・1500m・3000m・MS・TP）

※ MS（マススタート）、TP（チームパシュート）

【選考年齢区分】

国際スケート連盟（以下、ISU）ルール108条2項

注) 2005年7月1日から2009年6月30日までに生まれた者

【派遣人数】

男女各最大6名

【選考基準】

対象競技会：第31回全日本スピードスケート距離別選手権大会

※ 選考は、距離別部門及びジュニア選考部門の両部門を対象とする。

- (1) 男女500m、男女1000m、男女1500m、男女3000m、男子5000mの各距離で、選考年齢区分に該当する選手(以下、該当選手)の両部門の全レースを対象としたタイムの最上位者を選考する。ただし、男子5000mは、男子3000mのISUジュニアワールドカップ第1戦参加標準記録を所持している選手を対象とする。
- (2) 上記(1)項で選考された者以外の派遣選手は、対象競技会にエントリーしている選手の中から、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、チームパシュート・マススタートの構成とメダル獲得の可能性を勘案し、対象競技会の成績上位者の中から選考する。
- (3) 上記(1)項に該当する選手において、シニア日本代表に選出されジュニアワールドカップに出場しない場合は、これにより空いた出場枠についても上記(2)項に従って選考する。
- (4) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【ISUジュニアワールドカップ第1戦参加標準記録】

	女子	男子
500m	45,00	41,00
1000m	1.30,00	1.22,00
1500m	2.20,00	2.07,00
3000m	5.00,00	4.25,00

※ マススタート、チーム種目(チームパシュート、チームスプリント及びミックスリレー)にエントリーするためには、少なくとも1つの参加標準記録を達成していなければならない。なお、これらのチーム種目については、男女それぞれのチーム種目において最大1名は、1000mにおいて女子は1.33,00、男子は1.25,00を達成していなければならない。

2. ジュニアワールドカップ第3戦コラルボ大会(2/1~2、500m・1000m・1500m・3000m・MS・TS)

※ TS(チームスプリント)

【選考年齢区分】

国際スケート連盟(ISU)ルール108条2項

注) 2005年7月1日から2009年6月30日までに生まれた者

【派遣人数】

男女各最大5名

【選考基準】

対象競技会：第 31 回全日本スピードスケート距離別選手権大会、第 92 回全日本スピードスケート選手権大会、第 48 回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会

- (1) 世界ジュニアスピードスケート選手権大会の選考基準に準ずる。
- (2) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【ISU ジュニアワールドカップ第 3 戦参加標準記録】

	女子	男子
500m	42,50	38,50
1000m	1.25,00	1.16,00
1500m	2.12,00	1.58,00
3000m	4.45,00	4.05,00

- ※ 当該年度のジュニアワールドカップポイントを有していない者は、この参加標準タイムを達成していなければならない。
- ※ マスタート、チーム種目（チームパシュート、チームスプリント及びミックスリレー）にエントリーするためには、少なくとも 1 つの参加標準記録を達成していなければならない。なお、これらのチーム種目については、男女それぞれのチーム種目において最大 1 名は、1000m において女子は 1.33,00、男子は 1.25,00 を達成していなければならない。

3. 世界ジュニアスピードスケート選手権大会（2/7～9、イタリア・コラルボ、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・TP・TS・MR・総合）

※ MR（ミックスリレー）

【選考年齢区分】

国際スケート連盟（ISU）ルール 108 条 2 項

注）2005 年 7 月 1 日から 2009 年 6 月 30 日までに生まれた者

【派遣可能人数】

男女各最大 5 名

【選考基準】

対象競技会：第 31 回全日本スピードスケート距離別選手権大会、ジュニアワールドカップ第 1 戦、第 92 回全日本スピードスケート選手権大会、第 48 回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会

- (1) 選考年齢区分に該当する選手の中から、以下の①～④に従い選考する。
 - ① シニアワールドカップ第 1～6 戦日本代表として選考された選手は、その選考基準を満たして選考された種目（マスタート、チームパシュート、チームスプリント及びミックスリレーを除く）について、各距離最大 1 名まで選考する。各距離において、該当選手が 1 名を超える場合は、それぞれの当該年度の最高記録（高地リンクでの記録を除く）を日本スケート連盟によるシニア派遣標準記録（後述）に照らし合わせ、派遣 SS 標準記録以内、派遣 S 標準記録以内、派遣 A 標準記録以内、派遣 B 標準記録以内、派遣 B 標準記録以下の優先順位に従って選考する。同じ標準記録内に位置する複数の選手がある場合の優劣は、上位派遣標準記録（派遣 SS 標準記録以内の選手同士を比較する必要がある場合は派遣 SS 標準記録）への記録達成率（後

述)の比較により決する。

- ② 第48回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会における、男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m、男子5000mの各種目最上位者を選考する。ただし、上記①項を満たして選手が選考された種目については、本号では選考しない。
 - ③ 上記②項を満たして選考された選手と、当該種目における、当該年度の選考時点でのジュニアタイムランキング最上位者及びジュニアワールドカップ第1戦における3位以内の選手(存在する場合)とを比較し、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、総合的な検討を加えて、入れ替える場合がある。
 - ④ 残りの枠の範囲内で、当該年度のシニアワールドカップ第1～6戦日本代表選手、選考時点でのジュニアタイムランキング最上位者、ジュニアワールドカップ第1戦における3位以内の選手(存在する場合)及び第48回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会における男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m、男子5000mの各種目2位以内(マススタートは1位)の選手の中から、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、チームパシュート・マススタートの構成とメダル獲得の可能性を勘案し、総合的に選手を選考する。
- (2) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 総合得点競技としての順位付けのためには、全ての距離に出場する必要がある。
- ・ 記録達成率を用いる場合は、以下の算出および比較方法に従うものとする。

男子500m 派遣B標準記録以内の記録35,40を持つa選手の場合：

派遣A標準記録35,07が上位派遣標準記録となるため、 $35.07 \div 35.40 \times 100 = 99.06\%$ が記録達成率となる。

男子1000m 派遣B標準記録以内の記録1.10,30を持つb選手の場合：

派遣A標準記録1.09,38が上位派遣標準記録となるため、 $69.38 \div 70.30 \times 100 = 98.69\%$ が記録達成率となる。

a選手とb選手の比較：

記録達成率の高いa選手が優位となる。

【ISU世界ジュニア選手権大会参加標準記録】

	女子	男子
500m	42,50	38,50
1000m	1.25,00	1.16,00
1500m	2.12,00	1.58,00
3000m	4.45,00	
5000m		7.05,00 又は 4.05,00(3000m)

※ 上記の記録は 2023/24 シーズン（昨シーズン）のものであり、2024/25 シーズン（今シーズン）のものは ISU によって変更される場合がある。

【シニア国際競技会派遣標準記録】

女子					男子				
	SS 標準	S 標準	A 標準	B 標準		SS 標準	S 標準	A 標準	B 標準
500m	37,74	38,02	38,38	39,27	500m	34,62	34,83	35,07	35,57
1000m	1.14,88	1.15,59	1.16,64	1.18,76	1000m	1.08,40	1.08,96	1.09,38	1.10,37
1500m	1.55,72	1.57,13	1.58,33	2.02,28	1500m	1.45,10	1.46,00	1.46,64	1.48,84
3000m	4.01,87	4.04,67	4.08,23	4.18,93	5000m	6.13,69	6.17,75	6.23,97	6.31,63
5000m	6.52,81	6.58,52	7.06,28	7.20,32 又は 4.18,93 (3000m)	10000m	12.53,70	13.05,10	13.13,38	13.28,59 又は 6.31,63 (5000m)

※ 対象競技会は、2024 年 7 月 1 日以降に開催された日本スケート連盟主催大会とする。なお、各国際競技会の選考基準において対象競技会が指定されている場合は、その内容に従う。

※ 男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m、男子 5000m については、2019 年度及び 2021 年度 WC（カルガリー・ソルトレークシティ、最終戦以外）の各種目 1 番目のタイムの平均値を SS 標準、3 番目のタイムの平均値を S 標準、各種目 8 番目のタイムの平均値を A 標準、各種目 25 番目のタイムの平均値を B 標準とした。また、女子 5000m、男子 10000m については、2019 年度ヌルスルタン大会、2021 年度スタヴァンゲル大会及び 2023 年度 WC スタヴァンゲル大会の各種目 1 番目のタイムの平均値を SS 標準、3 番目のタイムの平均値を S 標準、各種目 8 番目のタイムを A 標準、各種目 20 番目のタイム又は女子 3000m、男子 5000m 各種目 B 標準の記録を、B 標準とした。